

児童朝会 講話 令和3年11月22日
№19 「学び合い 1」

おはようございます。

校長先生の声届いていますか？

いま、みなさんのまわりにあるものって、何がありますか？黒板、壁、おともだちなどなどいろいろなものがあるかと思いますが、もっと近くにあるもの机、いす、いやいやもっと近くにあるものです。

そう、空気があります。目には見えませんが、私たちのまわりには、絶対にありますよね。空気がないと、息ができなくて死んでしまいます。でも、この空気って、見えないし、手でつかむことはできないし、でも、手でパタパタとあおぐと風が起るので、「あ、何かあるな」というのはわかるかと思いますが。

そこで、みなさんにききます。この空気って重さはあると思いますか？「重さ」はわかりますか？今日は荷物が重いとか、この服軽いとか、いいですよ。高学年ならば、重さの単位のグラムとかも学んでいるかと思いますが。私たちの身の回りの空気に重さはあるのでしょうか？少しまわりの人と聞き合ってみてください。

あると思う人が多いようですね。ではあると思う人にききます。空気の重さがあるのならどうやって量ればいいのかと思いますか？

みなさんの体重なら体重計で量れますが、空気の重さは量れません。他に重さをはかるものとして電子てんびんというものがあります。これなら量れそうです。

たとえば、空っぽのこのびんは

181gです。

ここに水をいれると当然増えました。水の重さ分だけ増えたのですね。

でははいよいよ、空気の重さを量ってみましょう。こんどは、ここにぺちゃんこにしたコンビ

ニ袋をはかりますと、6gありました。ではこれに空気を入れると、いったい何グラムになるのでしょうか？

みなさんの予想を校長室前のボードに書きにきてみてください。

これで、校長先生のお話を終わります。さいごまで、静かに聞いていただきありがとうございました。

また、よかったら校長室の前のボードに、今日のお話の感想をつぶやいてみてください。

今年の漢字も大募集します。

用紙と投票箱を校長室前に

置いておきますので、

書きにきてください。